

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川校校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーテーションや机の位置で配慮を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			現時点では適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			現時点では適切である。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングを行い、情報を共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表をもとに保護者の意向を確認し振り返り等で意見を聞くようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で評価の周知を行うと共に、評価・改善内容を集約し、ホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現時点で行っていないが、今後必要に応じて検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部で研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にアセスメントシートを利用し、モニタリング面談等で確認を行い、支援計画を作成している。一人の職員がアセスメント等情報を持ってしまい共有できていない状況があったので、社内の内部監査により、情報共有について改善指示が出て、システムを変更しつつある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート等を利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			指導員間で連携を取り、支援プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			本人の状況に合わせ、活動プログラムが固定化しないように指導員間で情報共有を行い、プログラムの立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			本人の状況に合わせて、課題内容を設定している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			コロナウィルスの状況を鑑み、個別活動を中心に、必要に応じて小集団の活動を取り入れて、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、ミーティングの時間を設けている。職員全員で把握できるように共有できるツールを検討していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間で支援についてフィードバックを行っている。職員全員で把握できるように共有できるツールを検討していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録に基づき、次回以降の支援プログラムの立案を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとにモニタリング面談を行い、支援計画を見直している。親後さんが来所されない利用者のモニタリングが定期的に行っていない場合があるので、電話や郵送で対応できるように検討していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			利用者に応じて複数の活動を組み合わせで支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		子どもの状況に応じて、担当者会議への参画の調整を行っている。担当指導員が参加できていない場合があるので、担当指導員が参加できるように調整していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			電話等で連絡を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			発達支援センターと連絡をとりあい、情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当者なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じて連携を行っているが、感染予防の事もあり、外部の研修への参加が難しい。今後、コロナの状況を見ながら連携を行い、研修に参加できるように検討していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現時点では交流の機会を設けられていないので、今後検討していく。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	感染予防の関係で参加できていないが、今後状況を見ながら参加していきたい。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			振り返りの時間で支援内容やご家庭での様子の情報共有を行い、共通理解を持つようにしている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	振り返りの時間等で相談があった場合本人との関わりについて提案している。 感染予防の事もあり行ってないが状況を見てイベント等の実施を検討していく。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や利用状況の確認等で説明を行っている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			フィードバックの時間で聞き取りを行い、必要に応じて面談を設定している。保護者からの悩み等があった場合に、職員間で共有・相談し、必要に応じて面談や助言を行っていく。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者のニーズに合わせて、ママカフェ等で連携をとれる場を設定していく。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	児発管でない職員が一人に対応してしまっているのが、迅速・適切に対応できているものもそうでないものがある。校舎内で対応窓口や方法が統一・周知されていないため、今後流れを統一していけるよう検討する。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ、ライン、ちらし等を活用して行事予定を発信している。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			書類やデータは鍵がかかる場所で管理はしている。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの特性に合わせて意思疎通や情報伝達をするようにしている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方と交流できるイベントは実施できていないので今後検討していく。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの作成を行い、訓練を行っている。保護者の周知ができていないため、周知方法を検討する。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			対応の内容の確認等毎月行っている。今後は消防署や警察と連携して、より実践的な訓練を検討していく。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部で虐待防止についての定例研修参加している。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当児について、事前に説明と確認を行ったうえで、支援計画に記載している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントシート等を利用し、面談で確認を行っている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	今後、教室内での情報共有に基づき、事例集を作成していく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

保護者等数（児童数）：26名 回収数：19名 割合：73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	0	0	素晴らしいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	6	0	教室の中まで入らないのでよくわからない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	18	1	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	2	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	8	8	知らない。 教室内で交流の場がないので、でも必要ではないと思う。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1	0	領収書の間違いがあった。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	11	7	保護者会はないと思ったが、待合で話すこともある。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	5	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	8	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	0	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	8	3	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	0	家から出ることを嫌がり引きこもりがちだが、行ったら行ったで楽しんでいる。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。